

科目番号	52029	分類	研究	履修者	高度実践助産コース	学年			
科目名	課題研究 (Course Work Thesis)					1-2			
						配当セクター			
						通年(2年間)			
担当者	○橋本 美幸、朝澤 恭子 関屋 伸子、平出美栄子 小嶋奈津子、加藤江里子 加藤 知子、篠原枝里子 宮崎 文子	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	5	時間数	150	
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連				
【概要】 助産における研究の意義と特徴、研究デザインの考え方、研究方法、倫理上の配慮など、研究を進める上で必要な知識への理解を深めるとともに助産実践から研究疑問を抽出し、事例研究等の研究計画書を作成し、実施した結果を論文にまとめ発表会で発表する					○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力			
【目標】 1. 研究のプロセスの基本が理解でき実施できる 2. 助産実践から研究疑問を抽出し、事例研究等の研究計画をたてること 3. 研究計画書に基づき、事例研究を実施することができる 4. 実施した研究結果を考察し、研究プロセスを論文にまとめることができる						2.院内・院外助産システムを担うことができる能力			
						3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力			
						4.周産期の救急時に対応できる能力			
						5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力			
						6.研究・開発能力			
						7.倫理的意思決定能力			
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
1~2回	研究論文のクリティーク(1)							橋本 朝澤 関屋 平出 小嶋 加藤江 加藤知 篠原 宮崎	
3~4回	研究論文のクリティーク(2)								
5~6回	研究論文のクリティーク(3)								
7~8階	研究計画についてのクリティーク(1)								
9~10回	研究計画についてのクリティーク(2)								
11~73回	研究計画書作成								
74~75回	発表会								
事前・事後学習	自分の研究テーマに関連する文献を選び、クリティークし、それを発表する。クリティークされた内容を自分の研究に活かして、研究計画案を修正し、完成する。単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に取り組むこと。								
評価の方法	研究実施のプロセス、論文の内容、論文発表会での応答などを総合して評価する。フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	適宜、提示する								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								